

2025年度 第3四半期 決算説明資料

2026年2月6日
日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

連結損益概要

(億円)

	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	8,863	8,895	32	0.4%
営業利益	111	150	39	35.5%
経常利益	128	140	12	9.0%
当期純利益*	1	78	77	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

- 売上高は、紙・板紙事業で減少したものの、生活関連事業の売上高拡大により、前年同期比で増収。
- 営業利益は、Opalの収益改善や、前年度に大規模メンテナンスを行った日本ダイナウェーブパッケージング (NDP) が平常操業に戻ったことで、前年同期比で増益。
- 特別利益は、政策保有株式などの有価証券売却益や、退職給付信託返還益を計上。

セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年 同期比	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年 同期比
紙・板紙	4,294	4,187	▲107	68	▲2	▲70
生活関連	3,431	3,604	173	▲69	42	111
エネルギー	355	314	▲41	20	18	▲2
木材・建材・ 土木建設関連	557	557	0	61	69	8
その他	226	233	7	31	23	▲8
合計	8,863	8,895	32	111	150	39
国内	6,877	6,878	1	246	189	▲57
海外	1,986	2,017	31	▲135	▲39	96

増減要因内訳

(億円)

		紙・板紙事業		生活関連事業	
数量・売価	22	▲22	—	44	—
原燃料価格	19	9	チップ▲5、古紙▲22、パルプ 4、重油▲5、石炭 38、LNG 4、薬品他▲5 (価格影響 ▲5、為替影響 14)	10	パルプ 4、石炭 2、薬品他 4
コストダウン等	▲56	▲43	原価改善 ▲13、白老・八代停機影響 4、労務費▲14、物流費▲20	▲13	原価改善 2、労務費▲7、物流費▲8
その他	56	▲14	海外事業 ▲6、減価償却 6、退職給付費用 ▲10、受払影響ほか ▲4	70	海外事業 97(Opal 42、NDP 55、TSP 0)、減価償却 3、受払影響ほか ▲30
合計	41	▲70	国内▲64、海外 ▲6	111	国内 14、海外 97
その他事業	▲2	エネルギー ▲2、木建土 8、その他 ▲8			
営業利益	39				
営業外損益	▲27	金融収支 ▲11、持分法投資損益 ▲36、為替差額 38、その他 ▲18			
経常利益	12				



紙・板紙事業

(億円)

売上高			営業利益		
2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年同期比	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年同期比
4,294	4,187	▲107	68	▲2	▲70

- 国内
 - ・ 洋紙の輸出市況の悪化や、板紙の国内需要が低調に推移し、前年同期比で減収。
 - ・ 石炭等燃料価格は安定して推移したが、労務費・物流費のコストアップにより、前年同期比で減益。

- 海外
 - ・ 十條サーマル(JTOy)は、欧州市場での感熱紙需要の低迷が続き、前年同期比で減益。



生活関連事業

(億円)

	売上高			営業利益		
	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年 同期比	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年 同期比
国内	1,697	1,811	114	83	97	14
海外	1,734	1,793	59	▲152	▲ 55	97
合計	3,431	3,604	173	▲69	42	111

パッケージ 1、ケミカル 8
家庭紙・ヘルスケア 5

Opal 42、NDP 55、TSP 0

- 国内
 - ・ 家庭紙の投資効果の拡大などにより販売数量が増加。
 - ・ 労務費や物流費の上昇があったものの、価格修正効果の発現などにより、堅調に推移。

Opal	数量・売価 17、原燃料価格 ▲13、 原価改善 22、のれん 8、その他 8
NDP	数量・売価 40、原燃料価格 ▲12、 固定費 9、その他 18

- 海外
 - ・ Opalは、メアリーベール工場の原価改善(原単位改善、操業効率改善など)により赤字縮小。
 - ・ NDPは、前期の大規模メンテナンスの影響が解消され、販売数量が増加したことで大幅改善。



エネルギー事業

(億円)

売上高			営業利益		
2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年 同期比	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年 同期比
355	314	▲41	20	18	▲2

・販売電力価格の低下によって前年同期比で減収減益。

木材・建材・土木建設関連事業

(億円)

売上高			営業利益		
2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年 同期比	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年 同期比
557	557	0	61	69	8

・国内のバイオマス燃料の需要増加などにより、増収増益。



連結損益概要

(億円)

	2024年度 実績	2025年度 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	11,824	12,000	176	1.5%
営業利益	197	300	103	52.2%
経常利益	155	240	85	54.8%
当期純利益*	45	100	55	120.3%

* 親会社株主に帰属する当期純利益

■ 2025年度の業績予想は、2025年11月6日に公表した内容から変更ありません。

参考資料

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

2025年度 業績予想(2025年11月公表)



セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2024年度 実績	2025年度 予想	前年 同期比	2024年度 実績	2025年度 予想	前年 同期比
紙・板紙	5,659	5,550	▲109	83	50	▲33
生活関連 (うち海外)	4,579	4,900	321	▲61 (▲154)	100 (▲36)	161 (118)
エネルギー	483	450	▲33	36	30	▲6
木材・建材・土木建設関連	788	770	▲18	96	90	▲6
その他	315	330	15	43	30	▲13
合計	11,824	12,000	176	197	300	103
国内	9,139	9,370	231	316	310	▲6
海外	2,685	2,630	▲55	▲119	▲10	109



主要な前提条件

■紙・板紙 国内販売数量(対前年)

	下期	通期
新聞用紙	2%	4%
印刷用紙	▲5%	▲1%
情報用紙	▲3%	▲4%
段原紙	1%	▲0%

■主要原材料価格、為替

	下期
為替(米ドル)	152円/ドル
為替感応度	米ドル1円円高で+6.5億円/年
石炭	現状の調達計画を勘案 (豪州炭ベンチマーク価格:130ドル/t)
原油	75ドル/バレル(ドバイ)
古紙	足元の価格動向を勘案

2025年度 業績予想(2025年11月公表)



増減要因内訳

(億円)

		紙・板紙事業		生活関連事業	
数量・売価	94	12	—	82	—
原燃料価格	13	8	チップ ▲10、古紙 ▲20、パルプ 2、重油 ▲10、 石炭 56、LNG 5、薬品他 ▲15 (価格影響 ▲1、為替影響 9)	5	チップ ▲1、パルプ 1、石炭 3、薬品他 2
コストダウン等	▲37	▲26	原価改善 6、白老・八代停機影響 5、 労務費 ▲20、物流費 ▲17	▲11	原価改善 7、労務費 ▲11、物流費 ▲7
その他	58	▲27	海外事業 ▲5 減価償却 5、退職給付費用 ▲14、受払影響ほか ▲13	85	海外事業 118(Opal 47、NDP 71、TSP 0) 減価償却 2、受払影響ほか ▲35
合計	128	▲33	国内 ▲28、海外 ▲5	161	国内 43、海外 118
その他事業	▲25	エネルギー ▲6、木建土 ▲6、その他 ▲13		パッケージ 9、ケミカル 8、 家庭紙・ヘルスケア 26	
営業利益	103				

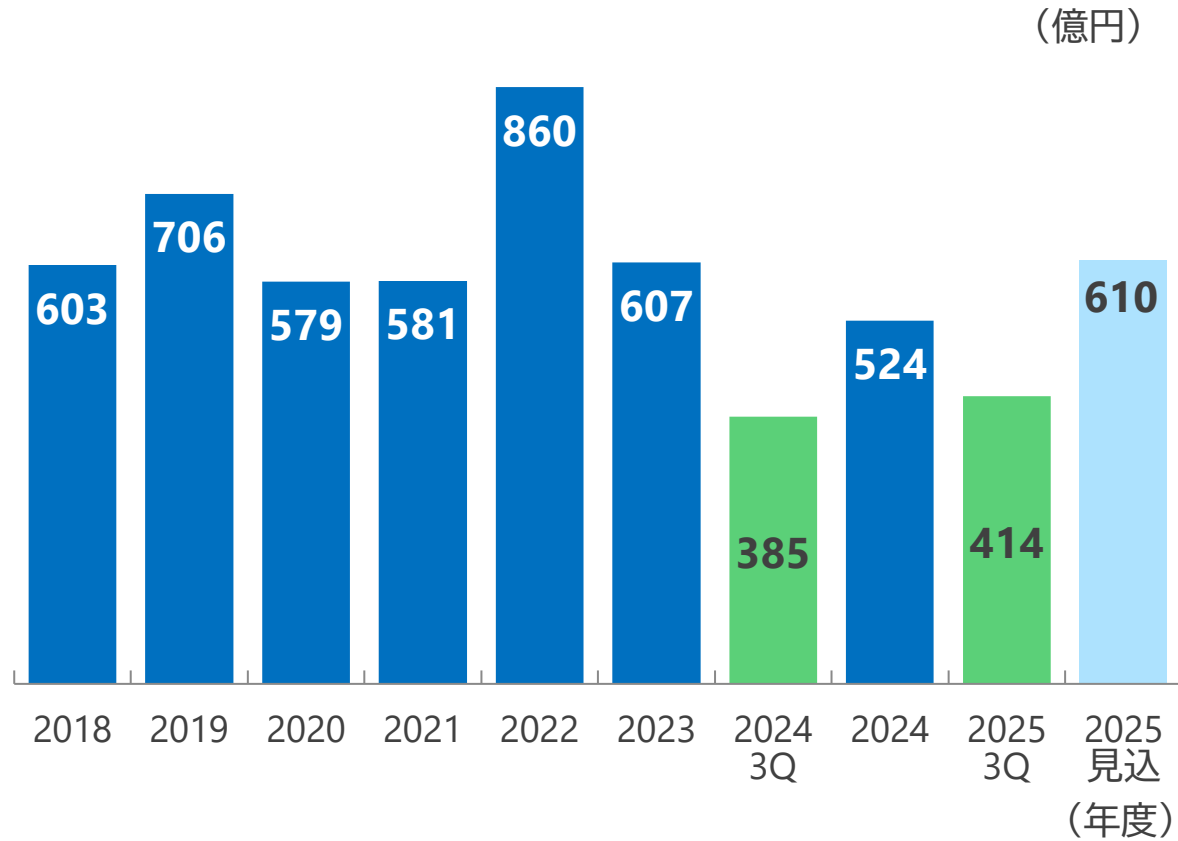
(千t)

	2024年度 1Q-3Q累計	2025年度 1Q-3Q累計	対2024
新聞用紙	377	394	4.7%
印刷用紙	661	663	0.3%
情報用紙	273	261	▲4.3%
その他	223	228	2.2%
国内	1,534	1,546	0.8%
輸出	156	122	▲21.8%
洋紙 合計	1,690	1,669	▲1.3%
段ボール原紙	1,160	1,138	▲1.9%
紙器用板紙他	236	229	▲3.0%
国内	1,396	1,367	▲2.1%
輸出	85	83	▲2.0%
板紙 合計	1,481	1,451	▲2.1%
洋紙・板紙 合計	3,171	3,119	▲1.6%

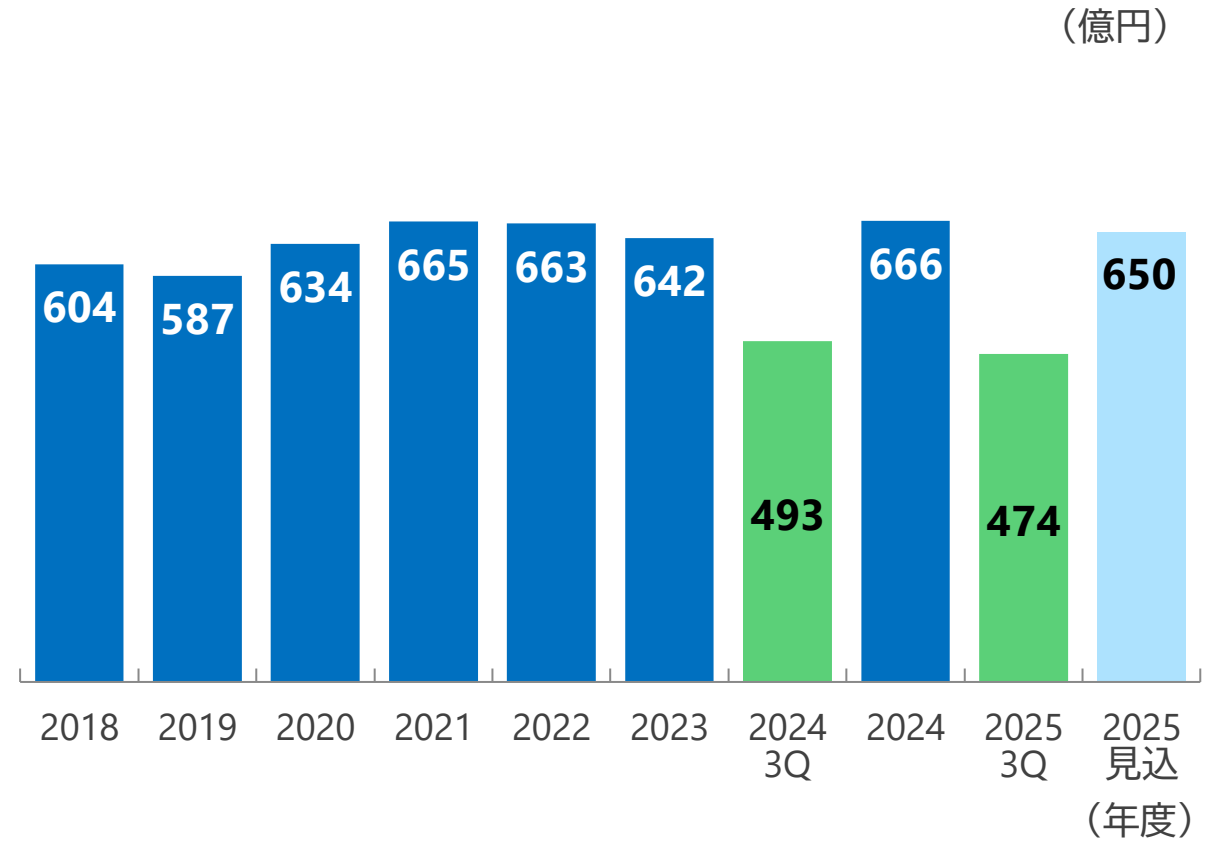
* 日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計(衛生用紙除く)



設備投資額*



減価償却費



*建仮計上ベース

セグメント別 売上高推移



(億円)

	2025年度			上期実績	2025年度	
	1Q	2Q	3Q		下期予想	通期予想
紙・板紙	1,382	1,360	1,445	2,742	2,808	5,550
生活関連	1,167	1,225	1,212	2,392	2,508	4,900
エネルギー	106	122	86	228	222	450
木材・建材・ 土木建設関連	196	183	178	379	391	770
その他	75	76	82	151	179	330
合計	2,926	2,966	3,003	5,892	6,108	12,000

セグメント別 営業利益推移



(億円)

	2025年度			上期実績	2025年度	
	1Q	2Q	3Q		下期予想	通期予想
紙・板紙	▲9	▲6	13	▲15	65	50
生活関連	30	▲6	18	24	76	100
エネルギー	6	11	1	17	13	30
木材・建材・ 土木建設関連	30	23	16	53	37	90
その他	▲2	13	12	11	19	30
合計	55	35	60	90	210	300

紙・板紙の国内出荷高と輸出入(2025年度 第3四半期)

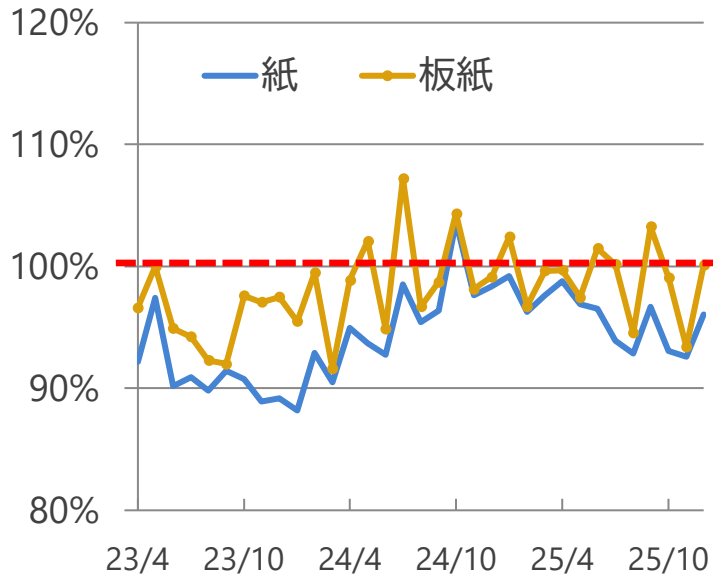
(千t)

	国内出荷高		輸出		輸入	
	数量	対2024	数量	対2024	数量	対2024
新聞用紙	1,030	▲9.5%	0	—	0	▲60.5%
印刷・情報用紙	3,297	▲5.6%	385	▲16.0%	392	2.0%
塗工印刷用紙*	1,741	▲5.5%	288	▲14.8%	81	15.0%
非塗工印刷用紙	890	▲5.8%	63	▲22.6%	9	9.2%
情報用紙	666	▲5.9%	34	▲13.0%	302	▲1.1%
その他	2,246	▲1.2%	183	▲10.1%	32	7.1%
紙 合計	6,573	▲4.8%	568	▲14.2%	425	2.3%
段ボール原紙	6,547	▲1.1%	598	6.4%	21	19.2%
紙器用板紙他	1,508	▲1.4%	26	▲23.5%	146	▲11.3%
板紙 合計	8,055	▲1.2%	624	4.7%	167	▲8.4%
紙・板紙合計	14,628	▲2.8%	1,192	▲5.2%	592	▲1.0%

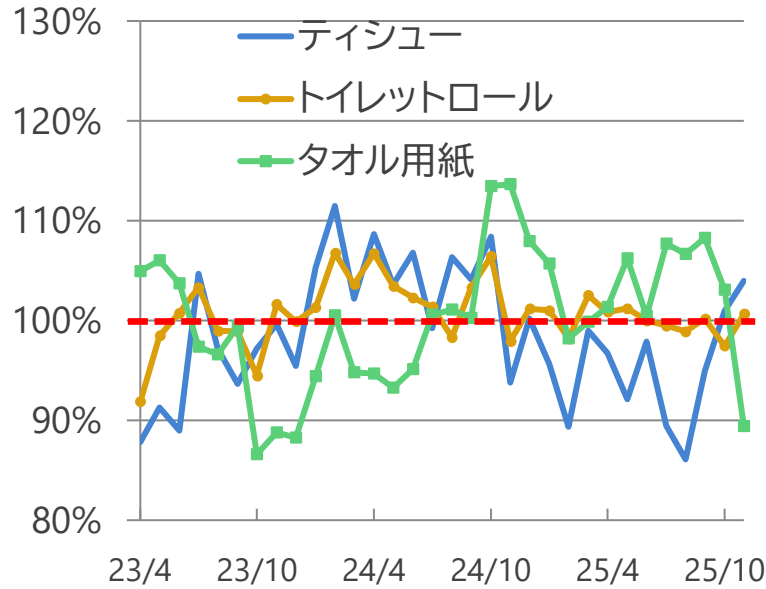
※塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

出所:日本製紙連合会、財務省貿易統計

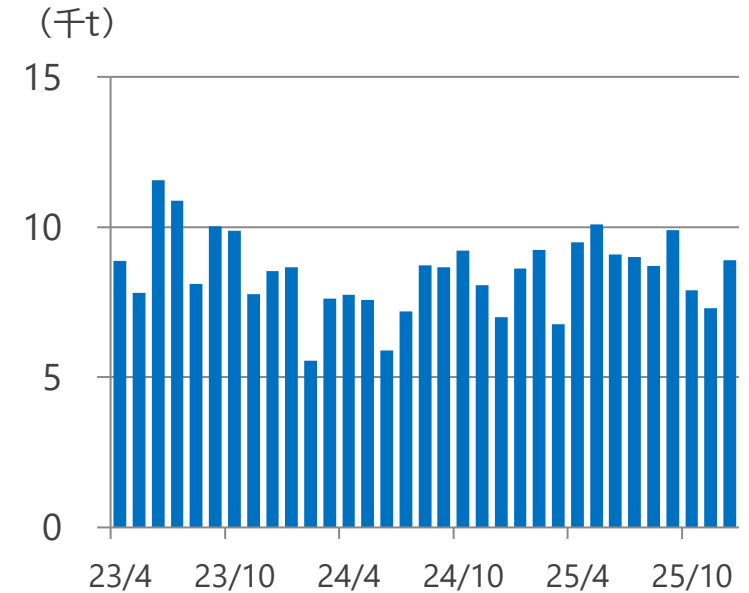
メーカー国内出荷量(対前年)



衛生用紙生産高(対前年)

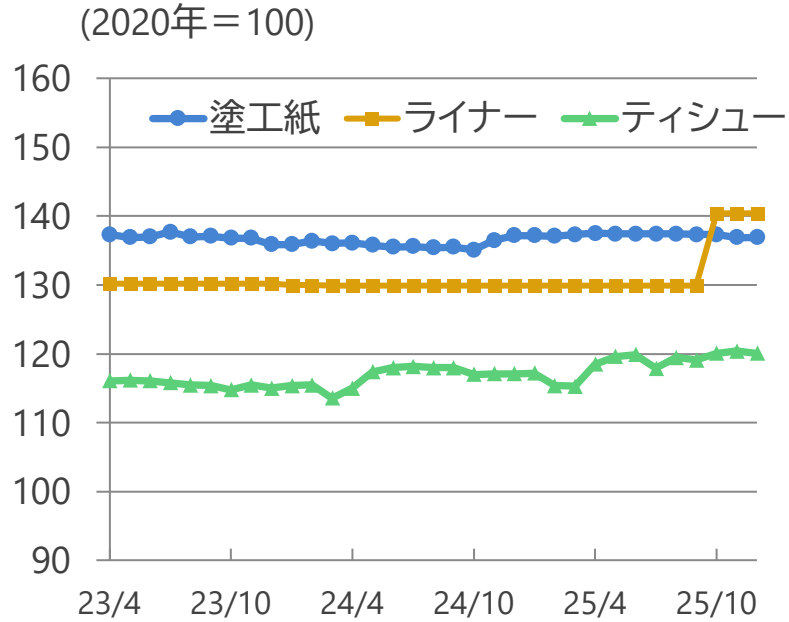


塗工紙輸入推移

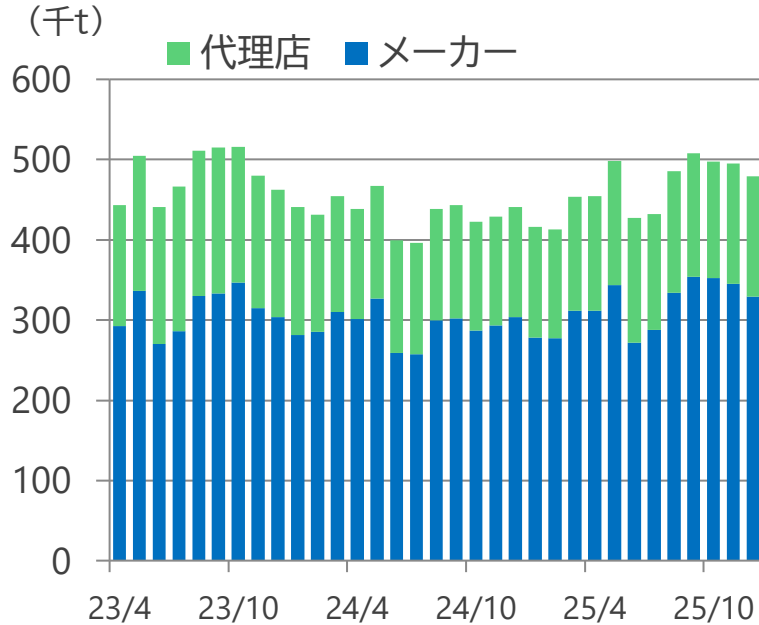


出所: 日本製紙連合会、経産省生産動態統計、財務省貿易統計

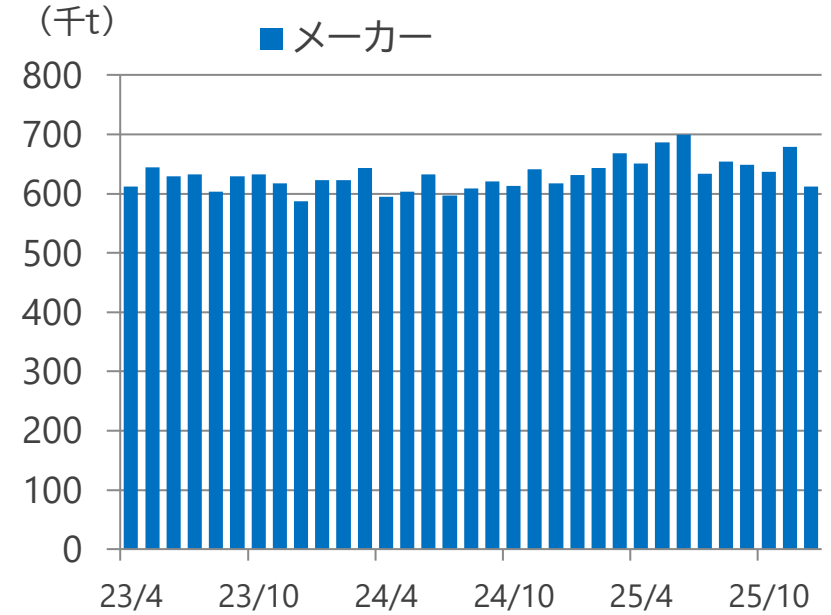
品種別価格動向



塗工紙在庫高推移



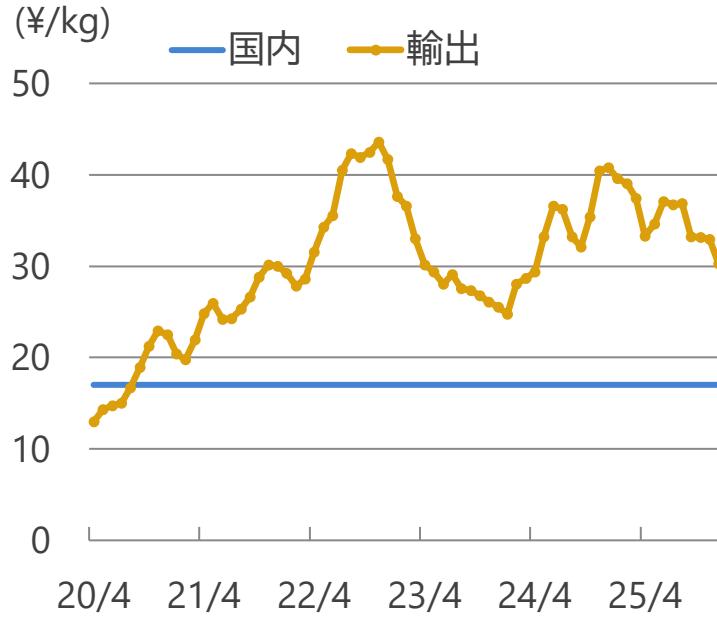
段原紙在庫高推移



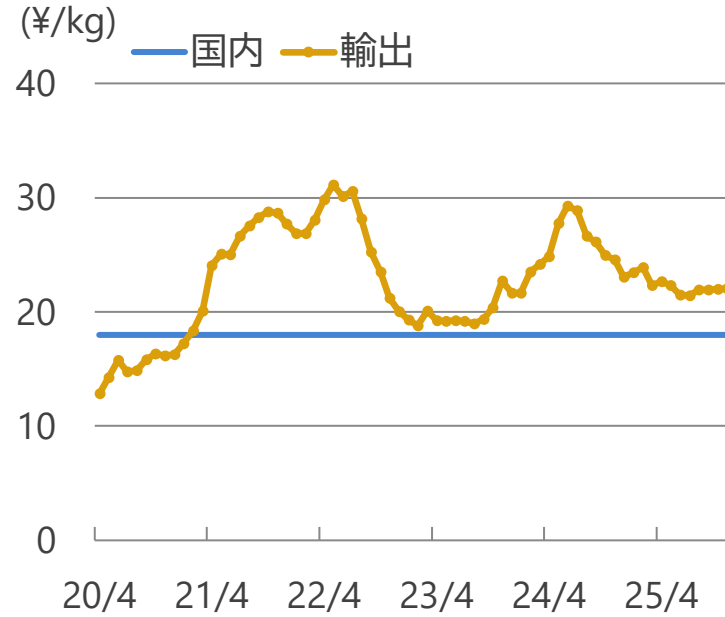
出所: 日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」



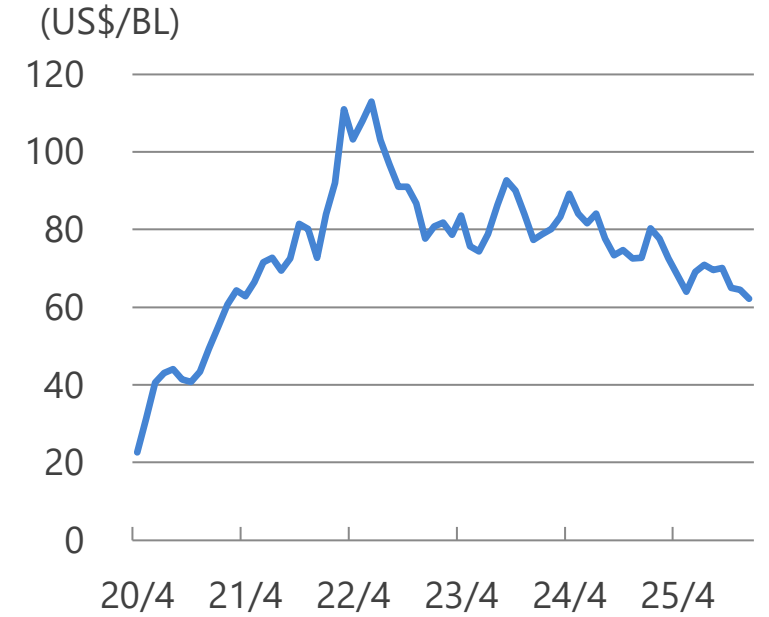
新聞古紙



段ボール古紙



原油



出所:古紙再生促進センター、財務省貿易統計、日本経済新聞



日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

<注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

日本製紙株式会社